

活動実施報告書(令和4年度)

名称: 鹿児島市立 本名保育所

所在地: 鹿児島市 本名町 3026 番地
丁目 番 5号

電話番号: 294-2351 E-mail: honmyohoiku@city.kagoshima.l
g.jp

代表者: 神矢 智恵子 担当: 小濱・角・坂上

4月～5月: エコ活動ってなあに? ～節水・節電・物を大切にしよう～

取組内容

・絵本「もったいないばあさん」「ちきゅうのためにできる10のこと」を見る。
「もったいない」気持ちをもって物を大切にしたり、廃材を使って遊ぶ楽しさを知ったりする。電気を消す、水道をとめる、ごみを捨てる、絵本を通して、楽しく分かりやすく伝える。

取組結果・感想等

・絵本を見ながら、年長児などは「こうするんだよね」「たいせつにつかうんだよね」など、経験を通して、回りに伝える姿が見られる。生活の中でも、年下の子どもに教えたり、みんなで気をつける姿が見みられた。玩具や絵本なども、修理できるものはしながら、大切に扱うことを繰り返し伝えていくようにしている。

活動の様子(写真等)



6月～8月: グリーンカーテンを作ろう! ～夏野菜を育てて食べてみよう～

取組内容

・ゴーヤ・パッションフルーツのグリーンカーテンを作る。大きくなるのを楽しみにしながら、毎日の水やりをする。
畑には、なす・ピーマン・パプリカ・かぼちゃなど様々な夏野菜を育て、キャンプごっこで、夏野菜カレーのクッキングをする。水やり、草取り、収穫を子ども達を中心となって行い、給食でも美味しくいただく。

取組結果・感想等

・日に日に伸びていき、大きなグリーンカーテンが出来たのを喜ぶ。ゴーヤやパッションフルーツの実を見つけ、保育者に教えてくれたり、友だちと数を数えたりする姿がみられた。カレー作りでは、たくさんの野菜が入っていることを知り、名前を言い合ったりしながら、野菜を身近に感じている様子が見られた。

活動の様子(写真等)



9月～10月：食べ物大切さを知ろう！～「残さず食べる」をやってみよう～

取組内容

・畑でピーマン・じゃがいも・さつまいも・かぼちゃ・ブロッコリーなど様々な野菜を育てる。年長児を中心に水かけをして野菜の生長を楽しむにする。収穫した野菜を給食室で調理し提供してもらう。

・絵本「おなかのこびと」を読み、食べることの大切さを知る。

取組結果・感想等

・野菜の生長に気づき喜ぶ姿が見られた。様々な野菜を収穫し、給食室で調理して出してもらう。自分たちで育てて収穫した野菜は、野菜が苦手な子どもでも一口は食べてみようとし「おいしいね」と言いながら食べる姿も見られた。

活動の様子(写真等)



11月～12月：自然の物を使って遊ぼう！～落ち葉・木の実・野菜スタンプ～

取組内容

・畑で育てて収穫した野菜の断面を見たり、絵の具をつけてスタンプ遊びをしたりする。

・戸外遊びを楽しむなかで、落ち葉や枝、草などを拾い集め遊びに取り入れて楽しむ。

取組結果・感想等

・野菜の断面を見て「細長いね」「ナスみたいな形だね」など友だち同士会話が弾んでいた。様々な色の絵の具を使ってスタンプをすることを楽しんでた。
・園庭に落ちている葉や枝をままと遊びに使って遊ぶ姿が多く見られた。自然の物を遊びに取り入れて食べ物などに見立てて遊べることが分かり、友だち同士話しながら毎日のように遊んでいた。

活動の様子(写真等)





1月～3月:色々な素材を使って遊ぼう!～牛乳パック、トイレットペーパーの芯などを組み合わせて遊ぼう～

取組内容

新聞紙遊びを楽しみながら、トイレットペーパーの芯や牛乳パック、ままごとなど、好きな物を子ども達に取り入れ、主体的に遊んでいく。新聞紙で作ったはさみを使い、トングのようにしてままごの食材をお皿に入れたり、トイレットペーパーの芯に、新聞紙や食べ物を詰めたり、一人ひとりが自由な発想で遊びを楽しむ。牛乳パックを並べたり、囲んで家のようにしたりと、遊びがどんどん展開される。

取組結果・感想等

さまざまな素材を組み合わせることで、無限に遊びが広がっていき、玩具とは違い、遊び方のない素材だからこそその楽しさを十分に味わうことが出来ているようだった。月齢・年齢の違いや、一人ひとりの興味に応じて、遊び方も様々であり、普段はゴミになってしまう廃材や身近な素材の魅力を変えて感じる事が出来た。

活動の様子(写真等)



1年間取り組んだ感想・ご意見

今回の取り組みを通して、エコ活動は決して難しいものではなく、一人一人の少しの心がけや工夫で、私たちの暮らしや環境を守ることに繋がるということを、子ども達と一緒に感じる事が出来た。

また、昨年まで野菜をプランターだけで育てていたが、今年度は新たな取り組みとして、園に畑を作り、より多くの野菜を育て、収穫する体験などの食育を通し、食べ物の大切さや、命をいただくことへの感謝を持つことの大切さを伝えることが出来たので良かった。

また、子ども達の中には、「修理したらまた使えるよ」「もったいないね」等というやりとりも聞こえてくる

